

空堀商店街界隈長屋再生プロジェクト

からほり倶楽部 副代表 理事 八木 秀泰

1. 地域づくり方針・目的

- 美しく歴史のあるまちの保存,再生
- イキイキした活力あるまちづくり
- 新旧世代,文化の共生

これらの考え方をもとにして“まちのあり方”を問い直そうとしています。

2. 取り組み内容

- 長屋物件説明会
- 長屋再生事業 「惣」「練」「萌」など
- 「からほりまちアート」の企画・運営
- 「直木三十五記念館」運営支援
- その他、広報活動および交流活動

3. 苦労点・達成度等

- ゼロからの出発・有志の集まり
→ “からほり”ブランド／『なにわ大賞』受賞／『国土交通大臣賞』受賞
- 既成団体、地元住民との関係
→ 地元ホープゾーン計画委員に選出／地元商店街の協力・協賛
- “ボランティア”のあり方
→ やりたい人がやりたい事を／会員140名（11／未現在）

4. 効果・反響等

- 長屋再生実績
- “まち”の外からの注目
- “まち”の中の変化

5. 今後の課題等

- 地元住民の参加
- 広報・理解不足
- 組織
- (人・物・金)がもっとあれば、情報と情熱はある

からほり倶楽部 活動趣意

- 美しく歴史のあるまちの保存,再生**
 住みやすい、魅力あるまちという内外の意見は、歴史あるまち並や長屋を中心とする環境や、その趣から来ています。それらを保存・再生することは、まちの持つ魅力を保存・再生することになります。このまち並を活かし、さらに住みやすく魅力あるまちを創造します。
- イキイキした活力あるまちづくり**
 もともと商店街を核として発展してきたこの界隈の魅力の一つは“交流”です。幸いこのまちで商いをしたいという人も多くおられます。このまちを理解し、受け入れられるエネルギーを持った人たちに集まってもらい、もともとある魅力的な商店を含めて、住人はもちろん外から訪れた人たちがワクワクするようなまちを創造します。
- 新旧世代,文化の共生**
 ただ古いものが良いわけではありません。それらの持つ他にはないまちの魅力を継承し、新しい世代や文化の中でさらに意味のあるものにしたいと思っています。古いものの持つ良さを新しい時代や生活の中に位置付けることで、新旧世代・文化の共生するまちを創造します。

これらの考え方をもとにして“まちのあり方”を問い直そうとしています







直木三十五記念館

プレオープン

平成16年10月23日



プレオープン イベント

桂小米朝トークショウ
&
直木と空堀・
プラトン社について





ハイからほり商店街 イベント

夜店出店協力

平成16年8月21日



からほり絵図
平成16年8月1日発行

空堀地区HOPEゾーン協議会

